

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年6月25日発行

2026.6.15 ~ 2026.6.21 ー第25週ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)		
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	
急性呼吸器感染症定点	急性呼吸器感染症*1	379 75.80	387 38.70	376 75.20	263 52.60	123 30.75	1,651 63.50	3,179 57.80	98,254
	インフルエンザ*2					1 0.25	10 0.33	1 0.02	17,145
	新型コロナウイルス感染症*2	1 0.20	9 0.90		2 0.40		10 0.38	22 0.40	3,070
小児科定点	RSウイルス感染症*2						5 0.33	5 0.16	309
	咽頭結膜熱*2		4 0.67	2 0.67			13 0.87	19 0.61	179
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*2	6 3.00	8 1.33	13 4.33	6 2.00		38 2.53	71 2.29	1,731
	感染性胃腸炎	24 12.00	20 3.33		3 1.00	9 4.50	53 3.53	109 3.52	3,717
	水痘	1 0.50	3 0.50	2 0.67			13 0.87	19 0.61	272
	手足口病		5 0.83	4 1.33			8 0.53	17 0.55	66
	伝染性紅斑						1 0.07	1 0.03	77
	突発性発しん	3 1.50	1 0.17	3 1.00			2 0.13	9 0.29	171
	ヘルパンギーナ*2							0	9
	流行性耳下腺炎							0	17
眼科定点	急性出血性結膜炎							0	2
	流行性角結膜炎	1 1.00		1 1.00			4 0.67	6 0.50	149
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	5
	マイコプラズマ肺炎				1 1.00		2 0.40	3 0.30	58
	無菌性髄膜炎							0	3
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1			2		1		
	川崎病						1		
	不明発疹症								

\*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。  
\*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 0例(前週比較:-2例)  
新型コロナウイルス感染症: 4例(前週比較:-3例)  
\* 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~  
急性呼吸器感染症患者より  
第25週採取分(8検体)  
エンテロウイルス属 2件、パラインフルエンザウイルス1型 2件  
陰性 4件

※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし  
2類感染症: 結核  
塩釜管内 男性2名  
結核(無症状病原体保有者)  
塩釜管内 男性1名(第24週)、女性1名  
仙台南管内 男児1名\*、女児1名\*、女性1名  
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症  
仙台南管内 女児1名\*(第22週、O157)  
石巻管内 男性1名(O型不明)  
仙台南管内 女性1名(O103)  
4類感染症: デング熱  
仙台南管内 女性1名  
レジオネラ症  
仙台南管内 男性1名  
大崎管内 男性1名  
5類感染症: 梅毒  
仙台南管内 女性1名  
塩釜管内 男性1名  
仙台南管内 男性1名(第24週)、男性2名、女性2名  
百日咳  
大崎管内 男性1名、女性1名(第24週)  
※男児、女児は6歳未満

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ~仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報~

検査結果は下記URLを参照ください。  
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、高熱・咽頭痛・嘔吐などを主症状とするA群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。感染経路は患者との接触を介するヒト-ヒト感染が主であり、家庭、学校などの集団生活によるものも多いとされています。春から初夏にかけて流行しますので、今後の動向に十分注意し、手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、患者数は夏に増加する傾向があります。主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では、溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあり注意が必要です。感染経路は、患者からの二次感染や食品等を介した経口感染、家畜等の保菌動物等の接触が報告されています。手洗いや適切な食品の取り扱いなど感染対策に努めてください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

# 宮城県定点週報告対象疾病の推移

